

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】

都道府県名	山形県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	遊佐町立遊佐中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	5	5	6	0	16	32
生徒数	177	199	201	0	577	

研究の概要

1. 研究主題

わかるまで、できるまで、学びあう生徒の育成

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

2年生・数学・英語

これまでの研究成果と生徒に対する実態調査の結果から、実施学年、教科の枠を広げ研究に取り組むため。

学校全体として

基礎基本の確実な定着を図るための手立て（TTや個に応じた指導）を工夫するとともに、生徒一人一人学ぼうとする力や学び合う学習集団を育てていくための指導、支援のあり方に視点をおき日常の授業の積み重ねを大切にいく。

基礎基本をおさえた学習目標、学習課題、学習の手立ての明確化

・教科年間指導計画上での基礎基本をしっかりとさえる。

・教科ごとの授業システムを確立する。

基礎基本の定着のわからない生徒への支援方法

・単元ごとの大きな形成評価と具体的支援方法の見直し

・教科ごとの日常的な評価補充システムを確立する

自分の頭で考え解決するための支援方法

学び合い活動の工夫

教科として

数学科において、クラス集団を意図的に分けて、学習の個別化・個性化を図る。

英語科において、TTを組んだり、場合に応じて習熟度別にしたりして、個に対応した指導方法を図る。

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>基礎基本定着とわからない生徒への指導方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科ごとの大きな形成的評価と具体的支援方法の見直し ・教科ごとの日常的な評価補充システムの確立 <p>学力テストの分析と結果をもとにした対応の検討と、学力向上に向けた教科部会・校内研修会の実施</p> <p>数学科と英語科における個に応じたティームティーティングの研究</p> <p>授業研究会 年2回</p> <p>先進校視察</p>
--------	--

平成16年度	<p>基礎基本定着とわからない生徒への指導方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科ごとの大きな形成的評価と具体的支援方法の確立 ・教科ごとの日常的な評価補充システムの確立 <p>学力テストの分析と結果をもとにした対応の検討と、学力向上に向けた教科部会・校内研修会の実施</p> <p>数学科と英語科における個に応じた指導方法（少人数指導、習熟度別学習）</p> <p>授業研究会 年2回</p> <p>先進校視察</p>
--------	---

(3) 研究推進体制

前年度からの改善点は特になし

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

1時間毎の課題設定や掲示の工夫、また、単元全体を見通した学習プリントの工夫など各教科見通しを持って生徒が学習に取り組むことができた。「基礎基本」の定着をめざした各教科の取り組みの工夫や「基本問題」の作成など、最低限取り組むべき内容を明記し、学級全体、学校全体で取り組む時間を設定して取り組んできたことにより「わかるようになろう」「できるようになろう」と努力する生徒が増えてきた。課題をじっくり考える生徒、教え合い聞き合いできるようになった生徒など学習に意欲的に取り組む生徒が増えてきた。評価規準、基準を考慮した年間指導計画の作成と実施、日常の授業での研究の積み重ね、学期末評価の方法も、教科部会での話し合いで深まった。「わかるまで、できるまで」取り組ませる内容の教科間の共通理解ができた。

2. 今後の課題

生徒自身、自分の学習のつまづきに気づき、自らの手で解決していく手立てなどの学び方の指導
自分の意見を堂々と発表できる生徒、また話し合いの考えを広げ、練り合い高め合いのできる生徒を育てる工夫。
基礎基本ができていない生徒へさらに力をつけさせていくための工夫
上位生徒に対する学力の向上に向け、ブラッシュアップ学習会の方法を改善
日常の授業で生かされる観点別評価の工夫と指導と評価の一体化を考慮し年間指導計画の再検討

学力把握のための学校としての取組

- ・数学科における単元末テストについての生徒の実態把握と今後の方向性の検討
- ・家庭と生徒からのアンケートによる外部評価の実施

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

第1回授業研究会 平成15年6月6日 遊佐中 1年から3年
第2回授業研究会 平成15年11月4日 遊佐中 1年から3年
基礎基本定着の評価とわからない生徒への指導方法
・単元毎の大きな形成的評価と具体的な支援方法の見直し
・各教科ごとの日常的な評価システムの確立
HP作成は現在のところ考えていない。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 3学級以下 4～6学級
 7～9学級 10～12学級
 13～15学級 16学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 その他
- 【研究教科】 国語 社会 数学 理科
 外国語 音楽 美術 技術・家庭
 保健体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無